

90 円茶風神貼りの速達書状

永吉 秀夫

1971年7月の速達料金改訂、翌年2月の書状料金改訂により、速達書状の合算料金が90円となりました。この合算料金用の90円切手としては、1966年発行の金風神が販売されていましたが、速達郵便用の「色検知」に適合するように橙色の色枠をつけて2色化した「茶風神」に改版発行されました。書状料金改訂の2ヶ月前の発行でした。

しかしこの図案はかなりの不評で、次の料金改訂を待たず2年後の1973年11月に、新図案の「いぬわし」に切り替えられてしまいました。

紹介品はこの90円茶風神の適正1枚貼り速達便です。押されている消印は福岡中央局の和欧文機械印、色検知枠を活用して一般の郵便物から自動取りそろえ・区分機によって抜き出されて処理されたものと思われます。「注文書在中」のゴム印が押された業務用郵便ですが、前号の書留便と同じく企業の業務に郵便が欠かせなかった時代の産物ですね。5月例会では、図案改正後のいぬわし貼りとのセットで紹介しました。

この茶風神の1枚貼りとしては、他に海外第2地帯あての航空便書状がありますが、その料金は発行翌年の7月に改訂(値下げ)されたため、茶風神貼りの利用期間は7ヶ月しかなく、やや入手難の使用例となっています。

速達定形便(料金90円=定形20円+速達料70円)

福岡中央 1973.3.18 → 大阪東
S48(1973).3.19

